

<p>子どもの声・姿・意識 (生活単元学習→生单 総合的な学習の時間→総合)</p> <p>活動の展開</p> <p>教師の関わり(手立て)</p> <p>単元の評価規準 ○知識・技能 ○思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]</p>			
<h3>話し合いを通して材を決め、材への熱意を高める。(6)</h3>			
・児童の声は下記に記載する。	○昨年度の生单や総合、桜町フェスティバルの振り返りをする。	・昨年度の活動を思い出しやすくするよう、写真や動画で昨年度を振り返る。	
<p>【昨年度の振り返りでの児童の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パーティをして楽しかった <ul style="list-style-type: none"> ・マシュマロがおいしかった。・スープがおいしかった。 ・おにぎりを食べたのがおいしかった。 ・みんなで料理するのが楽しかった。 ●自然・生き物・人との関わりが楽しかった <ul style="list-style-type: none"> ・鳥が来てくれるか待つのが楽しかった。 ・昆虫を捕まえるのが楽しかった。 ・タイヤをもらいにいったことが楽しかった。 ●ものづくり・作業体験 <ul style="list-style-type: none"> ・タイヤを埋めてアスレチックを作るのが楽しかった。 ・スコップで掘ったのがおもしろかった。 ・昆虫を育てるのが楽しかった。 			
・ひみつきちをパワーアップさせたい！ ・「ひみつきちプロジェクト2」にしよう！	○今年度探究していく材についてアイデアを出し合う。 ○材を絞る。 ○決まった材について探究の可能性を探る。	・学年ごとに分かれた少人数で、取り組みたいことについて考える。 ・児童の実態に合わせて、イラストや画像を使用して、分かりやすくするための工夫を取り入れていく。	[1:課題を見出し、把握している] [4:学びを振り返り、次につなげている] <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力> ○身に付けた知識及び技能を、課題に合わせて選択したり組み合わせたりして適切に活用している。
<h3>理想の実現に向けて、まずはやってみる。課題の把握(14)</h3>			
<p>一 学 期</p> <p>[アトリエハッピー]「Tシャツを作りたい。作り方を調べよう。」 [とりハン]「鳥の家を作りたい。ハンモックも作ってみたい。」 [ファーブル昆虫記]「自分たちで昆虫を捕まえたい。」 [ワクドキものづくり]「去年作ったアスレチックみたいにしたい。」 [フラベジマッシュ]「去年みたいに、お花や野菜を育てたい。」</p> <p>[アトリエハッピー]「みんなにどんなTシャツがいいか聞こう。」 [とりハン]「鳥の家はできたけど、ハンモックはどうやって作るのかな。」 [ファーブル昆虫記]「自分たちで捕まえた昆虫を育てたい。」 [ターザンラン]「タイヤを使った遊具にしようよ。」 [フラベジマッシュ]「育てたお花でキャンドルを作りたい。」</p> <p>[アトリエハッピー]「Tシャツをタイダイ染めで染めてみよう」 [とりハン]「手作りのハンモックを作ってみたい。ハンモックに寝て、鳥が来るか待ってみたい。」 [ファーブル昆虫記]「育てる環境をもっとよくしたい。」 [ワクドキものづくり]「材料はどのように手にいれよう。」 [フラベジマッシュ]「お花をきれいに咲かせるためにはどうしたらいいかな。」</p>	○活動グループを絞る。(1) ○グループ毎に活動に取り組んでいく。 ・虫の家作り・鳥の巣箱作り ・ハンモック作り・Tシャツ作り ・花、キノコ、畑作り ・アスレチック作り	・話し合った内容を整理するために、グループ毎に担当の教師が付き、円滑に活動が行えるようにする。 ・活動グループに愛着をもてるようグループのオリジナルの名前を決めるようにする。	[2:課題解決の方法を考えている] <②自己理解・自己管理能力> <③課題対応能力> ○「ひみつきちづくり」についての話し合いを通して、情報を既存の知識や体験と結び付けている。
	○ひみつきち作りを探究していくために、何にどんな順番で取り組んでいくか計画を立てる。	・他の教科の時間を使って知りたいことややってみたいことについて取り組んでもよいことを伝える。 ・活動の初めに、前回の振り返りを毎回行う。 ・計画を立てることが難しい児童もいるため、教師との対話を中心に一つ一つの過程を具体的に決めていく。	<①人間関係形成・社会形成能力> [2:課題解決の方法を考えている] [3:協働して学んでいる] <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力> ○計画の過程で発生した問題から課題を見出し、ICT機器を活用してよりよい解決方法を探すことができる。

もっとすてきなひみつきちにするためには？安全により楽しめるひみつきち作り(20)

二
学
期

[アトリエハッピー]「友達に似合うTシャツのデザイン、色を考えて作ってみよう。」
 [とりハン]「鳥のエサ台も作りたい。手作りのハンモックを中庭に置こう。鳥が来てるか待ってみよう。」
 [ファーブル昆虫記]「土や昆虫が住みやすいものにしたい。」
 [ワクドキものづくり]「楽しめるシンボルも作りたい。遊具も作ってみたい。」
 [フラベジマッシュ]「まだまだ虫もいるし、雑草がいっぱいだな。」

[アトリエハッピー]「みんなが喜ぶTシャツを作ろう。」
 [とりハン]「鳥の餌をエサ台に置いてみよう。鳥が来るかも。」「冬でも暖かいハンモックに変えたほうがいい。」
 [ファーブル昆虫記]「どうしたら冬をこせるんだろう。」
 [ワクドキものづくり]「みんなの目を引くデザインって何かな。丈夫に組み立ててみよう。」
 [フラベジマッシュ]「キャンドルに色々な色の花を入れたい。」

[アトリエハッピー]「完成したTシャツをみんなに着てもらおう。」
 [とりハン]「ハンモックに寝て鳥が来るか待ってみよう。」
 [ファーブル昆虫記]「池をつくりたい。」
 [ワクドキものづくり]「いろんな遊び方ができるね。目立つデザインになった。」「ひみつきちのシンボル・象徴になるね。」
 [フラベジマッシュ]「自分のデザインしたキャンドルを作ろう。」

○形になってきた制作物の安全性や、改良点について話し合う。
 ○話し合った内容を基に、改良を加える。

・今までの学習を生かせるように、グループ毎に学習の軌跡を残しておき、振り返りしやすくする。
 ・様々な場合を想定して、安全性や耐久性について話し合っていく。

[1:課題を見出し、把握している]
 [2:課題解決の方法を考えている]
 <①人間関係形成・社会形成能力>
 <③課題対応能力>

●ものづくりに楽しさや喜びを感じ、めあてをもって活動に取り組んでいる。

○ものづくりに必要な技術や手順を知る中で、必要な技能を身に付けることができる。

三
学
期

完成したひみつきちでやりたいこと(12)

・ひみつきちが完成したから、みんなでパーティーをしたい。
 ・ひみつきちでみんなとピックニックしたい。
 ・また、ひみつきちで焚火をしたい。
 ・作ったTシャツを着て、みんなでファッショショーンショーがしたい。
 ・作ったキャンドルを飾ってみんなでお話したい。
 ・わかくさ学級にひみつきちがあることをみんなに知つてもらいたい！
 ・昨年度よりもパワーアップしたのを知つてもらいたい！

○完成したひみつきちを使って何をしたいか考える。

○学習発表会や桜町フェスティバル等の行事を通して、わかくさ学級のひみつきちの魅力を紹介する。

○今年度の成果と課題をまとめる。

・今までの活動の写真をもとに、自分たちにしかできない魅力発信する内容を考えよう促す。

・言葉に説得力をもたせるために、実体験したことをもとに話すよう促す。
 ・さらに追究したいことを記録しておく。

○これまでの活動を振り返り、作ったものをいつ、どのように活用するのかを考えることができる。

[1:課題を見出し、把握している][2:課題解決の方法を考えている][3:協働して学んでいる]
 <①人間関係形成・社会形成能力>
 <③課題対応能力>

[4:学びを振り返り、次につなげている]

材（ひみつきちづくり）のもつ価値

・思い通りにいかない場面でも、「どうすればもっとよくなるか」「なにが足りないか」と考え直し、改良や改善を重ねる中で、課題を解決する力を育むことができる。
 ・木材の計測や、○等分など算数的活動を実践することで、算数が生活に生きることを知り、活用することができる。
 ・実際に自分で作ることで、ものづくりへの興味関心が高まる。
 ・材料を入手するにあたって、地域企業と関わりをもつことができる。

材（ひみつきちづくり）に寄せる子どもたちの思いや願い

★自分の興味のある物を自由に作りたい、育てたい、飼いたいと願っている。
 ☆身近な中庭をみんなで協力して、もっと楽しい場所にしたいと願っている。
 ☆中庭を完成させて、パーティーをしたいと願っている。
 ☆作ったひみつきちをみんなで使えることに思いを膨らませている。

★…子どもたちの深層にあると予想される求め・思い・願い